



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED 1980



2016年 12月 No.432

Joan Wilson(カナダ) 国際会長主題:「Our Future Begins Today」[私たちの未来は、今日から始まる]
Tung Ming Hsiao(台湾) アジア会長主題:「Respect Y 'Movement」[ワイズ運動を尊重しよう]
利根川恵子(川越) 東日本区理事主題:「For the Future, Act Today!」[明日に向かって、今日動こう]
片山 啓(茨城クラブ) 関東東部部長主題:「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」
辰馬行男 東京北クラブ会長主題:「義務を果たし、実りあるワイズ活動を、そして楽しく」

会長:辰馬行男 副会長:村杉克己 書記:村杉克己 書記:金 秀男 会計:磯部成文 担当主事:小松康広

今月の聖句

イザヤ書 40章31節

『主に望みをおくひとは新たな力をえ、驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。』 金 秀男会員

第549回 クリスマス例会プログラム《EMC/MC》

日時 2016年12月21日(水) 18:00~20:30
会場 日本キリスト教団浅草教会 台東区西浅草3-4-5
受付 辰馬行男
クリスマスメッセージ 篠田真紀子牧師(浅草教会)
司会:金 秀男・奏楽・神谷邦子
楽しくディナー: レストラン「Kinukawa」特別会費6,000円
ゲームのプレゼント(1,000円位)を持参する
ハッピーバースデー
20日 金 秀男

「第548回11月例会報告」

村杉一榮会員

日時:11月16日(水) 18:30~20:30
場所:日本キリスト教団 浅草教会 集会室



会員卓話「なんにもないから知恵がでる」~磯部成

『12月第二例会報告』

村杉克己書記

日時:2016年12月7日(水) 18:30~19:30
場所:浅草文化観光センター 4階小会議室(浅草雷門前)

1. 第一例会プログラム

- ①第550回2017年1月18日(水)《IBC/DBC》
「新春例会」東京グリーンクラブと合同例会
- ②第551回2017年2月15日(水)《TOF》
卓話:仮題「食物・野菜・・・」
藤田 智氏(恵泉女子大学教授) 東京多摩みなみクラブ

2. 報告及び協議事項

- ①「興望館デイ」報告11月13日(日)9:00~ 裏面掲載
- ②「グランチャ東雲秋祭り」報告10月22日(土) 裏面掲載
- ③「第2回関東東部評議会」報告11月19日(土)13:00~
場所:東陽町センター 1月号に掲載
- ④「東日本区メネットのつどい」報告 11月26日(土)
10:00~場所:東陽町センター 1月号に掲載
- ⑥「東陽町クリスマスオープンハウス」12月23日(金・祝)
9:30~東陽町センター 例年通りおでん販売(100食)
メネットは「フリーマーケットに出店」会員は9:00集合
- ⑦「在京ワイズ合同新年会」2017年1月7日(土)12:30~
東京YMCA山手コミュニティーセンター・登録費5,000円
出席者:磯部幸子、神谷、小松、辰馬、村杉一榮、山根。

文さん父を高校生の時に亡くし、家業のオムツカバーの会社は、母が社長で、番頭さん・お手伝いさんがやっていた。大学を卒業し大阪へ修業に、それも飛び込みで、一番荷物の出入りがあるお店で、家業を継ぐために、2年間勉強させてもらい、やめるという約束でした。住み込みで島根、鳥取へ出張する仕事をしました。お礼奉公でもう一年勤め戻りました。夏場はオムツカバーが駄目なので、水泳帽子を思いつき、九州から北海道まで出張して廻った。学校でのプールが普及し始め、1964年東京オリンピックで水泳が惨敗し、スイミングスクールが盛んとなり、水着販売に力を入れた。1984年「介護オムツカバー」を商標登録しました。2011年金藤理絵選手と出会い、彼女がリオオリンピックで金メダルに輝き、所属する会社として、フットマーク(株)がメディアでも取り上げられた。今は社内にある小さな博物館の館長として訪問者との対応を楽しみにしている。いつも何かを考え前進する、磯部さん、まだまだ挑戦してください。

出席者:磯部・幸子、神谷、金、小松、篠澤、辰馬、村杉・一榮、山根。

清泉YMCA:初村有稀子(2年)

11月在籍者		11月出席者		11月出席率	BF等ポイント	ニコニコボックス	
会 員	10名	会 員	10名	100%	11月分	11月分	
広義会員	0名	メネット	0名		切手		55g
合 計	10名	コメント	0名	メイクアップ	現金	8,500円	
		ビジター	0名	0名	本年度累計	本年度累計	
		ゲスト	1名	11月修正出席率	切手	171g	57,880円
		合 計	11名	100%	現金	35,300円	

「グランチャ東雲秋祭り報告」



辰馬行男会員

10月22日(土)
11時～グラン
チャ東雲ふるさ
とチャリティー
秋祭りが開催さ
れました。曇り
空の中、東京北
クラブ、東京グ
リーンクラブの

浅見さん、布上さん、こども園の先生、宮良有紀さん、藤居里沙さんも一緒に飲み物を販売しました。模擬店では海鮮焼き、たぬきごはん、カレー、パスタ、クレープなどを販売していました。当日は近隣の方々特に親子ずれが目立ち入場者は3,600人と多くの人で賑わいました。時節柄ハロウィン衣装の子供達も見かけ盛り上がりしました。小松担当主事はゲームコーナーを手伝いました。少し肌寒く、飲み物の売れ行きを心配しましたが、353本を販売する事ができました。

「第57回清泉祭報告」



辰馬行男会員

10月30日(日)
お昼ごろ清泉女子
大学清泉祭、清泉
YWCA ブースを訪
問しました。東北
被災地支援ボラン
ティア活動や立教
大学、中央大学、
との3大学合同プ
ログラム、過去の清泉 YWCA 活動報告などの展示がして有り、

過去の清泉 YWCA 活動報告などの展示がして有り、韓国の学生 YWCA との交流も進んでいるとの報告を受けました。おいしいベビーカステラを食べたり、今後の活動を聞きながら、確実に清泉 YWCA は活動範囲を広げつつ有る事を感じました。

「興望館デーは大賑わい」

磯部成文会員

日時：2016年11月13日(日) 9時30分～14時00分
場所：興望館 全館上げての盛り上がった会場



赤ちゃん、幼児をつれた家族からおばあちゃん、おじいちゃんまで、列をつくって興望館に足を運んでくださったみなさんがなんと約1000人。またとない絶好

のぼかぼか陽気の会場は溢れんばかり。東京北クラブは恒例のチョコバナナ。バナナを2つに切って皮むきは後援会の神保さんと担当スタッフ、辰馬会長と磯部はバナナを割り箸に刺してチョコレートをたっぷりつけて、色とりどりの粒をかける役。「チョコバナナいかがですか!!!」の大声をかける間もなく、50円を手にした子供たちが次々に並んで、12時までにはアツという間に売り切れです。

出席者：磯部、辰馬、村杉、神保伊和雄さん(東京むかで)

++++ 清泉 YWCA 便り +++++ 2年 初村有稀子さん

いつもお世話になっております、新たに代表となりました、初村有稀子と申します。12月から正式に代替わりをいたしました。活動として、東陽町の夏祭り、グランチャ東雲祭、興望館デー、毎月の定例会に何度か参加させていただきました。どれも私にとって、清泉 YWCA にとっても、意義のある活動となっています。これからも積極的に活動に参加していきたいと思います、よろしくをお願いします。

**** 興望館便り **** 萱村竜馬さん****

「奉仕体験の場」

辰馬さん、磯部さん、村杉さんのお三方が興望館デーの応援に駆けつけてくださいました。そこに興望館後援会副会長の神保さん(東京むかで)も加わり、熟練のチームワークから次々とチョコバナナが並びます。あっという間に材料がなくなり「もっと買い足して作ろうよ!」と子どもに人気の活気溢れる売り場でした。かつてバザーという名称だった30年ほど前からご協力いただいています。子どもや学生をはじめ大人にとっても貴重な奉仕体験の場です。そのお手本となる皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

YyYyYyYyYyYyYy YWCA ニュース YyYyYyYyYyYyYyYy

1. 「熊本大地震復興支援マラソンチャリティーコンサート」が、11月11日に最終回を迎えた。このコンサートは、本法人理事の飯靖子氏他有志による実行委員会の呼び掛けにより、様々なジャンルの音楽家たちがコンサートでバトンを繋ぎ、熊本支援の輪を広げようという趣旨でスタート。7月から19回に渡り開催され、延べ800名を超える来場者があった。益金総額1,859,611円は、熊本YWCAを通して被災した方々を支援する活動のために用いられる。
2. 11月17日、「YWCA/YWCA 合同祈禱会」が在日本韓国YWCAを会場に開催された。『誰も置き去りにしない』というテーマのもとに大久保正禎牧師(日本基督教団王子教会)より「ひとりを捜しにいかないか?」と題してメッセージをいただいた。各YWCA、YWCAより会員、役員、職員など約50名が集い礼拝と懇親の時を持った。東京YWCA、日本YWCA同盟からは22名が出席した。
3. 11月26日、山手センターにて「ソシアスフォーラム」が『共に語ろう東京YWCAの未来を!～中期計画とブランディングから～』をテーマに山手センターで行われ、約50名が参加した。菅谷淳副総主事より「2016年度～2018年度中期計画」、星野太郎主任主事(日本YWCAブランディングタスクチームメンバー)よりYWCAのブランドコンセプトが紹介され、その後分団協議にて東京YWCAの今後の活動や広報の在り方等が幅広く語り合われた。
4. 12月3日、「国際プログラム報告会・クリスマス祝会」が東陽町センターで開催された。職員や会員、にほんご学院の学生やボランティアリーダーなど、幅広い世代の参加があった。礼拝では佐藤茂美氏(会員、午餐会世話人)より『博士の井戸』と題してメッセージをいただき、報告会では今年度実施された国際プログラムの参加者を中心に分団での分かち合いが行われた。ラテンバンド演奏やキャンプソングを楽しむ時間も設けられ、和やかな雰囲気の中で参加者同士の交流がはかられた。

(小松康広担当主事)

yYyYyYyYyYyYyYyYyYy Ywca ニュース YyYyYyYyYyYyYyYyYy

◎来年1月第二例会は2017年1月11日(水)に変更